

# ろうさい ニュース

平成 29 年

12 月号

第 400 号

## ■腹腔鏡下仙骨膣固定術 (laparoscopic sacrocolopexy:LSC) はじめました！

浜松労災病院泌尿器科医師 小堀 豪

平素より患者様のご紹介をありがとうございます。

2017 年 12 月より骨盤臓器脱に対する先端医療である腹腔鏡下仙骨膣固定術を始めましたので、ご案内させていただきます。

**骨盤臓器脱とは**：女性の骨盤内臓器（膀胱、子宮、直腸、小腸など）が、膣から膣壁ごと脱出する疾患です。原因としては、経膣分娩、閉経、肥満、便秘など様々な要因により、骨盤底を支える構造に破綻をきたして生じると考えられています。おもな症状は「股間になにか触れる」「股間にピンポン玉のようなものがはさまっている」というものです。重症になると、排尿障害、水腎症、びらん、出血などをきたします。頻度は多く、お産を経験した女性の 3 人に 1 人ともいわれています。

### 骨盤臓器脱の種類：



## 骨盤臓器脱の治療：

### ○保存的治療

骨盤底筋体操

膣内装具：ペッサリーなど

### ○手術療法

**従来手術（婦人科）**：経膣的に子宮摘出、靱帯縫縮、膣壁形成、膣閉鎖など。高い再発率（20-40%）が問題となります。

### **TVM 手術（Tension-free Vaginal Mesh）**

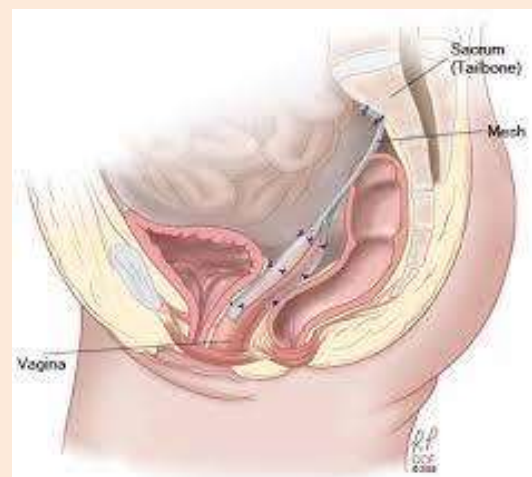
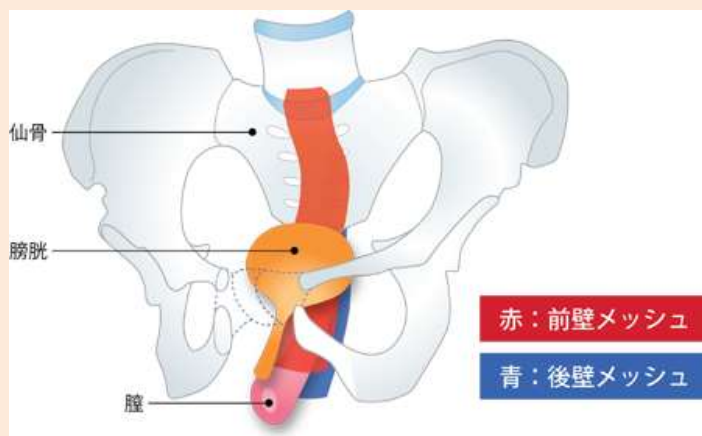
経膣メッシュを用いた骨盤形成術。弱った膣壁の代わりに、膣壁からメッシュを挿入し支持組織を置き換えます。再発率は低いです（2-5%）。時に性交痛、会陰部痛、メッシュ露出などの合併症があります。本邦での合併症の報告は低いですが、その合併症の頻度の高さから、米国のFDAは警告を発し、欧米ではほとんど施行されなくなっています。

### **LSC 手術（laparoscopic sacrocolopexy）**

腹腔鏡下にまず子宮を摘出。膣壁と膀胱、膣壁と直腸の間にメッシュを差し入れて固定し、そのメッシュの端を引き上げて仙骨の前縦靱帯に縫い止める手術です。開腹での仙骨膣固定術は30年以上前より施行されており、高い効果は証明されています。欧米では現在主流となりつつある術式です。本邦でも2016年4月に腹腔鏡下手術が保険適応となり、低侵襲で施行可能になりました。手術自体の時間は3時間前後かかりますが、出血も少なく術後の回復はとてもスムーズです。入院期間は約1週間です。適応はすべての骨盤臓器脱で、TVMを含む他の手術の再発例にも対応可能です。再発率は非常に低く、メッシュ露出や性交痛、会陰部痛の合併症もTVMより低いとされています。またTVM手術の場合、術後2-3か月は重いものを持たないなど腹圧をかけないように注意する必要がありますが、LSCの場合は退院後より通常的生活をしていただけます。

手術をご希望の患者様がおられましたら、ご紹介いただければと存じます。

### LSC 手術のイメージ



## ■ 「糖尿病」の治療就労両立支援について

浜松労災病院では、これまで「脳卒中リハ」「がん」に罹患している患者さんで就労または仕事の継続を希望されている患者さんに、リハビリ技士やMSWが中心となりその手伝いをしています。

この度、「糖尿病」に罹患した患者さんにも治療就労両立支援を開始することとなりました。医師、看護師、管理栄養士、MSWを中心にしたチーム医療で患者さんの就労を支援します。

就労年齢においては、4人に1人は糖代謝異常者になっていると推測されていますが、就労者の中心世代である40代では糖尿病の強く疑われる人のうち治療を継続的に受けている人は、男性で38.7%、女性で42.9%に過ぎず、治療経験のない人と過去に治療を受けていても現在は治療を受けていない人の合計は男性で60.7%、女性で57.1%に及んでいます。高血糖は、直ちに業務遂行能力に問題を生じる事はありませんが、慢性的な高血糖状態は10年、20年後の深刻な糖尿病慢性合併症（失明、人工血液透析、下肢切断など）を引き起こします。この高血糖の代謝失調の状態は治療にて血糖正常化したのちも長期に渡り悪影響が残ることが知られており“遺産効果”，“メタボリックメモリー”と呼ばれています。したがってより早期からの継続した治療が重要となります。

「糖尿病」患者さんで就労を希望されている方は、当院までご相談下さい。

連絡先：053-462-1211（患者支援センター 医療福祉相談室）



## 第30回浜松EAST医療連携セミナーの開催について

平成30年2月22日（木）に浜松EAST医療連携セミナーを下記のとおり開催いたします。今回は「心不全」がテーマです。ご多忙中恐縮ではございますが、ご出席いただけますようお願い申し上げます。

記

日 時：平成30年2月22日（木）

19：30～20：30

場 所：浜松労災病院 6階 大会議室

講 師：信州大学医学部内科学第5教室・循環器内科学 教授 桑原宏一郎先生



## 第17回浜松EAST看護連絡会の開催について

平成30年2月16日（金）に浜松EAST看護連絡会を下記のとおり開催いたします。今回は「認知症」がテーマです。ご多忙中恐縮ではございますが、ご出席いただけますようお願い申し上げます。

記

日 時：平成30年2月16日（金）

13：30～15：00

場 所：浜松労災病院 6階 大会議室



## 神経内科及び小児科休診のお知らせ

当院の神経内科医師及び小児科医師が平成29年12月31日付けで退職することに伴い、当面の間、神経内科及び小児科は休診とさせていただきます。

ご迷惑をお掛けしますが、何卒ご了承下さい。

独立行政法人 労働者健康安全機構

電話 053-411-0366

受付時間

浜松労災病院 地域医療連携室

fax 053-411-0315

月～金 8:15～18:00 土 8:15～12:00